2025 年 4 月

UMGC ブリッジプログラム体験談

氏名：横田 恵美 (40 代)

職業：経営コンサルタント

最終学歴：University of Maryland Global Campus Master of Business Administration（2024 年 12 月卒業）

① なぜブリッジプログラムを受講したいと思いましたか？

私がブリッジプログラムの受講を始めたのは、2022 年の夏でした。当時私は、外資系の BtoB マーケティングの支援を行う企業に勤務しており、日々の業務を通じて、マーケティング分野の研究が特に盛んなアメリカの大学で、より体系的に学びたいという思いが芽生えていました。それに加え、コロナ禍の影響でチームの外国人メンバーが帰国し、英語を使う機会が大幅に減ってしまいました。このままでは英語力が落ちてしまうのではないかという危機感が、受講を決めた理由です。

また、リモートワークの導入により横須賀から東京への通勤が不要となり、浮いた時間を新たな学びに充てたいという思いも後押しとなりました。さらに、メリーランド大学のブリッジプログラムおよび MBA プログラムは、働きながら学ぶ社会人向けに設計されている点も魅力であり、キャリアを止めずに学び続けられる点に強く惹かれました。

② このプログラムを受講して、学んだ知識や体験したことの中で、良かったと思うことを三つ教えてください。

日本にいながら本格的な“留学体験”

ブリッジプログラムは週 2 回の授業で構成されており、私は仕事を定時で終わらせ、横須賀基地内の教室に通っていました。ゲートを通過すると、標識や掲示物、雰囲気までもがアメリカそのもので、まさに“異文化空間”です。大学からの連絡や Web サイトはすべて英語で、講師やスタッフの多くもアメリカ人。たとえば「Wi-Fi がつながらない」「本科コースの出願方法を知りたい」など、日常のやり取りもすべて英語で行う必要がありました。私は以前イギリスに留学した経験がありますが、このプログラム期間中はまさに“日本にい

ながら留学している”といった感覚で、実践的な英語環境が大変貴重でした。

高品質で実践的な英語教育

メリーランド大学のブリッジプログラムは、非ネイティブ向けの英語教育に精通したプロフェッショナルな講師陣によって構成されています。前半はスピーキングを中心とした授業で英語による円滑なコミュニケーション能力を高め、後半ではアカデミック・ライティングのスキル習得に重点を置きます。

特に、エッセイ構造や論理的展開、引用のルールなどを学ぶ授業は、本科コース（MBA）に進んだ後も大いに役立ちました。実際、MBA の課題提出でも大きなつまずきなく進めることができたのは、ブリッジプログラムでの下地があったからだと感じています。

人とのつながりが学びを支える力に

このプログラムを通じて、素晴らしい講師やスタッフ、そして多様なバックグラウンドを持つクラスメイトに出会うことができました。ブリッジプログラムでは、幅広い年齢層の仲間や親身に相談に乗ってくださるスタッフの方々と出会い、卒業後も交流が続いています。このような温かいつながりがあったからこそ、安心して本科コースへと進むことができました。

また、年に一度開催されるメリーランド大学主催のパーティー（東京もしくは沖縄開催）では、全国の在校生・卒業生が集まり、懐かしい仲間との再会や新たな出会いがあり、学びを超えた大きな財産となっています。

③ このプログラムを通して、自分の中で変わったことを教えてください。

ブリッジプログラム、そして MBA コースの受講を通じて、仕事と学びを両立するタフさと自己管理力が身についたと実感しています。リモートワークの導入が受講のきっかけでしたが、プログラム開始時には週 3 日の出社が再開され、自由な時間は想定よりも限られていました。さらに MBA コース開始と同時に管理職へ昇格し、責任や業務量も増す中で、授業の準備や課題提出をこなすのは決して簡単ではありませんでした。

それでも、通勤時間や休日を工夫して時間を捻出し、どんなに忙しくても授業の参加や課題提出を乗り越えました。この経験を通じて「時間を戦略的に使う力」が育ったと感じています。

そして何より、同じように多忙な業務や家庭を抱えながら学び続ける仲間たちの姿に、何度も励まされました。特に米軍所属のクラスメイトの中には、昼夜を問わず不規則な勤務

をこなしながら、粘り強く学び続ける方も多く、その姿勢には深く感銘を受けました。それぞれ異なる環境にありながらも支え合い、刺激し合いながら進んでいけたことは、知識以上のかけがえのない経験です。

④ 今後、このプログラムを通して得た経験や知識をどのように活かしていきたいですか。

ブリッジプログラムでアカデミック・ライティングやプレゼンテーションの基礎をしっかりと身につけることができたことで、MBAコースに進んでからも課題やディスカッションに自信を持って取り組めました。MBAでは、アメリカの大学ならではの実践的でグローバルな経営を体系的に学び、当初目指していたマーケティング分野にとどまらず、財務・組織・戦略といったビジネス全体の視野を得ることができました。

この経験を通じて、自分のキャリアの幅を広げる転機にもなりました。今後は、MBAで培ったグローバルな視野と多様な価値観への理解を活かし、新規事業やスタートアップ企業の成長を支える仕事を通じて、社会に貢献していきたいと考えています。

⑤ このプログラムの受講を検討している方へ、メッセージをお願いします。

このプログラムを通して、私は英語で考え、伝え、行動する"グローバルにサバイブする力"を身につけることができました。アメリカのタフなクラスメイトたちと真剣に学び合い、多様な価値観や働き方に触れる中で、柔軟な思考力と、自分の意見を臆せず発信する姿勢が磨かれたと感じています。特に、ブリッジプログラムから段階的に学び始めたことが、自信を持ってMBA課程に進む土台となり、無理なく力を伸ばせた要因だったと思います。

このプログラムには、言語や文化、年齢、職業を超えて学び合える仲間がいます。もし少しでも「やってみたい」と思っているのであれば、その一歩をぜひ踏み出してください。この経験が、世界を少しずつ広げてくれると思います。

2025年4月18日に沖縄でおこなわれたCommencement ceremony（卒業式）